

(あいうえお順)

八色の森の子ども絵画展



美術展

八色の森の

未来に繋ぐ

未来に繋ぐ絵画考

2018年以降も継続開催

◆会期 2017年10月8日(日)～11月21日(火)

「八色八海」日本酒ラベル展

南魚沼市 池田記念美術館

http://www.ikedaaart.jp
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815
〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐5493-3 八色の森公園内
上越新幹線浦佐駅より徒歩15分
関越自動車道大和スマートICより車3分

(公財)新潟県文化振興財団助成事業

写真：米山達志

参加作家 と作品

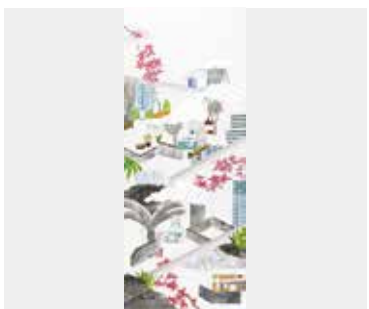
美術展出品の作品とは異なる場合があります。



秋山 清 Kiyoshi AKIYAMA
「Touch the Time, Water of Mind / c」
鳥の子紙に写真をプリント、緑青を顔料、
126㎝／2017年



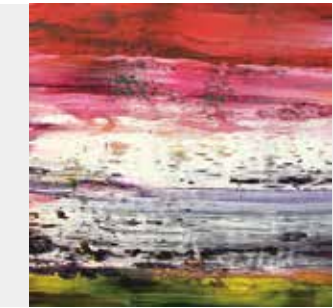
石井 博康 Hiroyasu ISHII
「拵拵 (15-Oct)」
キャンパスに油彩／162×162㎝／
2016年



泉川のはな Nohana IZUMIKAWA
「新都心之図」パネルにキャンパス、アクリル
カラー、セアルミ、鉛筆、マスキングペー
ス／135×55・5㎝／2015年



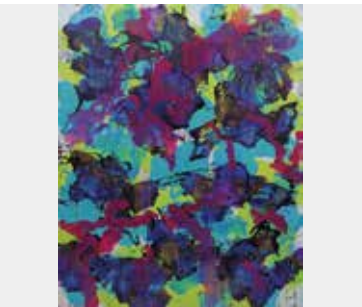
市川 和英 Kazuhide ICHIKAWA
「光と緑の距離 (Green)」
WoodAB／120×120×1.5㎝／
2016年



岩本 拓郎 Takuro IWAMOTO
「赤白の激流」
キャンパスに油絵具、30×30㎝／2017年



薄井 崇友 Takatomo USUI
「あなたをただけじゃないよ わたしたち
も宿んでいます」タチホリンにインジェク
トプリント／125×130㎝／2016年



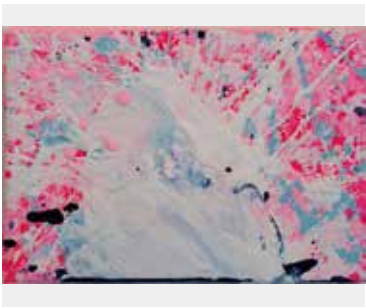
大嶋 彰 Akira OSHIMA
「絵画の壁Ⅱ (17-10)」
キャンパスにアクリル、油彩、
181・8㎝／2017年



海發 準一 Junichi KAHATSU
「落丁の第Ⅱ楽章、赤」
紙、カラーインク、アクリル絵具／F8／
2017年



木島 彰 Akira KUIMA
「Spindly branches 17-10-1」
キャンパスに油彩、36×55㎝／2017年



きまぐら かおり Kaori KIMURA
「無題」
キャンパスにアクリル／9×12㎝／2016年



木村 浩之 Hiroyuki KIMURA
「阿比」
クロス、黒、アクリル／280×100㎝×2
枚／2017年



小林 良一 Ryochi KOBAYASHI
「文庫」
キャンパスに油彩／238×194㎝／
2017年



佐藤 陽子 Yoko SATO
「Dry Wood・拵拵」
FB Paper (パイン材紙)／28×35・5㎝／
2016年



芝 草文 Akiomi SHIBA
「無題Ⅱ」
和紙に顔料、墨、マニール、黒、黒、金箔／
220×220㎝／2016年



下向 惠子 Keiko SHIMOMUKAI
「MYTOS 16-2-4 Riverside」
銅版画、エッチング、アクアセント／85×60
㎝／2017年



神野八重子 Yaeko JINNO
「無情無愛無仕懸け」
パネル、シルクスクリーン、
115㎝／2015年



堂元 修 Osamu DOMEN
「見えぬものの対話」
キャンパスにアクリル絵具、
130×162㎝／
2017年



中村 陽子 Yoko NAKAMURA
「兆し・湧」
キャンパスにアクリル（転写）／130×
130㎝／2017年



新山 光隆 Mitsutaka NIYAMA
「交差する視界 no9-1」
アクリル、キャンパス／91×116㎝／
2009年



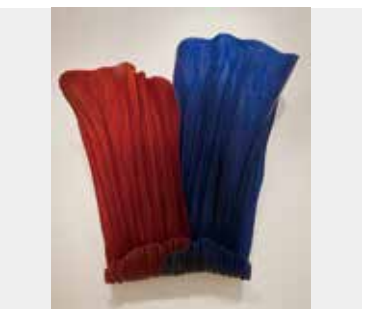
西村沙由里 Sayuri NISHIMURA
「不帰の絵」
銅版画、エッチング、アクアセント／85×60
㎝／2017年



沼田 直英 Chokuei NUMATA
「矩形の斜線・対角線 D-02」
キャンパスにアクリル／125×125㎝／
2017年



羽賀 洋子 Yoko HAGA
「色奏・影映 17・3」
綿布に水性シルキド樹脂絵具、162×162
㎝／2017年



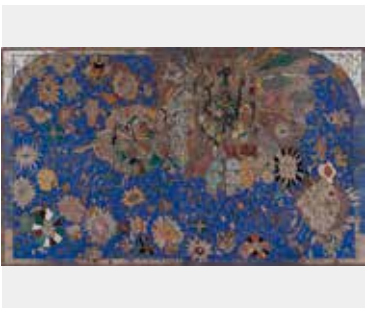
古川 流雄 Haruo FURUKAWA
「三牛の灼熱」
布、ポリエステル樹脂、顔料他／182×
165×60㎝／2015年



村上 滋郎 Jiro MURAKAMI
「山に立つて思ふこと」
厚紙、布、サイズ可変、2016年



山田ちさと Chisato YAMADA
「Magic Hour 011」
キャンパスにアクリル絵具、顔料、岩絵具／
162×130㎝／2017年



結城ななせ Nanase YUKI
「入場と退場」
パネル、和紙、鉛筆、
194×224
×4㎝／2017年



吉田 恭 Kyo YOSHIDA
「Panau New Guinea Singing Series #7」
写真（縮小プリント）／28×21㎝／1998年
撮影、2016年補加工



米満 泰徳 Yasuhiko YONEMITSU
「陰翳の密構」
綿キャンパス、アクリル樹脂、油彩／182×
182㎝／2017年



「八色の森の美術展」開催にあたり.....私には夢がある。

実行委員長 海發 準一

今秋、新潟県南魚沼市にある池田記念美術館を会場として、東京をはじめとする首都圏、和歌山県、山形県などで活躍する現代アートの作家28名による「八色の森の美術展」を開催します。同時に、南魚沼市内の小学校と総合支援学校小学部の子どもたちから応募のあった抽象絵画を展示する「八色の森の子ども絵画展」を併催いたします。

芸術・文化活動は自分自身を探索する旅です。自らが地域や歴史と切り離されたものではなく、創造を通して世界との距離や位置を知ることです。その旅は、互いを尊重し、他者を理解することにつながります。芸術活動は世界各地で繰り広げられている紛争や収奪とは無縁な幸福なコミュニケーションです。我々は幸福な言語で理解を深め、豊かな魚沼に「幸せの言葉の苗」を育てたいと願います。

もとより魚沼の地にあつては、壮絶な量の雪は豊かで尽きることのない清流を生み、米を育て、酒を造り、白い上布を織りなし、絢爛豪華な鯉の変異を導いてきました。経済や効率が最優先される現代では豪雪は邪魔なものとして疎まれてきましたが、同時に大きな福音をもたらしてきたわけです。その一方、大急ぎで都会に追いつこうとした昭和という時代とは異なり、いつでもどこにでもあると思っていたものがもはやどこにもないことを我々は知りました。便利な都会と同じものは手に入らないし、地方の地域社会はその存続さえ危ぶまれています。

私には夢があります。

今日蒔いた種が子どもたちの成長とともに「幸せの言葉の苗」となり、大きく育ち、花咲かせ、それが何とも交換できない掛替えのないものに育つよう。「米百俵」は政治の言葉ではなく教育の言葉です。この地の未来そのものである子どもたちと一緒に、その種を蒔きましょう。今はまさに「幸せの言葉の苗」となる種を蒔き、価値の交換を求めない未来の福音としたい。

10月8日(日)～10月9日(月・祝)

作家 vs 公募展出品の子どもたち①
ワイワイ楽しい！ 作品相互批評会
●10月8日(日)13時～

基調講演会 谷川 渥(美学者・美術評論家)
子どもにもわかる美学講座「芸術の起源神話」
司会:大橋紀生(「美術手帳」元編集長)
●10月8日(日)15時～

作品解説会 解説:出品作家
●10月9日(月・祝)13時～

特別講演会 塩田純一(新潟市美術館・館長)
「美術館って何をするとところ？」
司会:大橋紀生(「美術手帳」元編集長)
●10月9日(月・祝)15時～



11月3日(金・祝)～11月4日(土)

作品解説会 解説:出品作家
●11月3日(金・祝)13時～

文化講座「ニューギニア高地部族のボディ・デコレーション」
吉田 恭(出品作家・元国際協力機構(JICA)専門家)
司会:海發準一(出品作家・八色の森の美術展実行委員長)
●11月3日(金・祝)15時～

作家 vs 公募展出品の子どもたち②
一緒に巨大な抽象絵画に挑戦しよう！(大公開！ライブペインティング)
出演:結城ななせ(出品作家・やまがたこどもアトリエ主宰者)
+参加の子どもたち
●11月4日(土)12時30分～

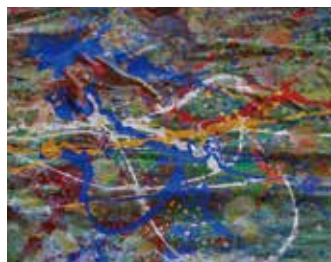
トークイベント「絵画・子ども・創造性」
出演:大嶋 彰(出品作家)、結城ななせ(出品作家)、地元学校関係者、ほか
司会:芝 章文(出品作家)
●11月4日(土)15時～

【同時開催】

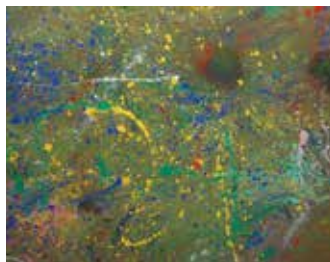
八色の森の 子ども絵画展

「八色の森の子ども絵画展」の応募作品を展示します。膨大な情報が飛び交い、身動きがとれにくくなっている時代にあって、抽象絵画に挑戦した子どもたちの作品には、自らの力で意味や形をつくり出す喜びがあふれています。「八色の森の美術展」出品作家の作品と比べながら、子どもたちの絵を見ていくと、新しい発見があるでしょう。

写真は6月と7月に開催した抽象絵画教室の様子と、子どもたちが共同で制作した作品です。講師は出品作家の結城ななせさん。子どもたちは全身、絵の具だらけになって作品づくりを楽しんでいました。



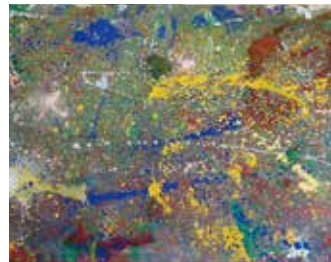
南魚沼市・後山小学校
全校児童共同制作



南魚沼市・浦佐小学校
4年生共同制作



南魚沼市・浦佐小学校
3年生共同制作



南魚沼市・総合支援学校小学部
+赤石小学校6年生共同制作

南魚沼市 **池田記念美術館** <http://www.ikedart.jp>

〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐 5493-3 TEL: 025-780-4080 / FAX: 025-777-3815

アクセス: 上越新幹線 & 上越線・浦佐駅東口より約1 km、徒歩15分

関越自動車道・大和スマートIC (ETC専用): 3分 / 六日町IC: 15分 / 小出IC: 10分

入館料: 大人500円、高校生以下無料、団体割引など各種割引あり(企画展・常設展含む)

開館時間: 午前9時～午後5時(入館は閉館の30分前まで) ※最終日は午後3時閉館

休館日: 毎週水曜日

その他: 車椅子、ベビーカー、授乳室完備

